

駅サイティングを見逃すな!

やいた片岡ロードレース実行委員会

矢板市は国内最高峰の自転車レース「Jプロツアー」の開催地として三年目を迎えます。やいた片岡ロードレースについては実行委員会の千野根友和会長にエコーなスポーツとして注目される自転車競技の楽しみ方やレースに寄せる思いを聞きました。

●なぜ矢板が開催地に市が数年前からスポーツツーリズムに自転車を取り入れていたことJプロツアー会長の片山右京氏の推薦があったこと、矢板には自転車競技に適した地形が多いこと、片岡駅西口にロータリーができたことが大きな理由です。

●見どころは おすすめ観戦ポイントにはクリーナ矢板の急な坂道周辺(地図①)、スタートゴールの直線(地図②)、片岡駅西口ロータリー周辺(地図③)です。

●大会への思いは 子どもたちがレース会場に来て、プロの自転

●Jプロツアーとは 全日本実業団自転車競技連盟(JBCF)が主催している自転車ロードレースで全国各地を転戦して、年間ポイントを争う大会です。

●仕事やスタッフは 本部スタッフは、十人で、大会PRやコース設定、飲食店の出店要請などを行います。また、当日はたくさんのお客様のボランティアスタッフもいます。PRの顔は、元自転車競技者でやいたシクロアンバサドール(自転車大使)の高坂美歩さん(矢板市出身)です。

●見どころは おすすめ観戦ポイントはクリーナ矢板の急な坂道周辺(地図①)、スタートゴールの直線(地図②)、片岡駅西口ロータリー周辺(地図③)です。

●大会への思いは 子どもたちがレース会場に来て、プロの自



【開催日時】
6月9日(日)9時~17時20分
JR片岡駅西口周辺
~クリーナ矢板周辺 周回コース

クリーナ矢板

あなただけのお気に入りをつくる

Mark.

矢板市内で初めて個人向けのレーザーマーキングのお店「Mark.」を今年二月に立ち上げた西川正隼さん(三十一歳)にお話を伺いました。

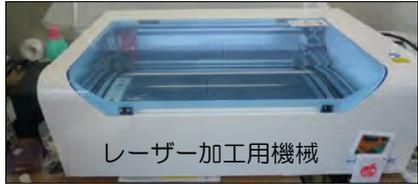
●レーザーマーキングとは 材料にレーザービームを照射し、プリントのような刻印をすることが可能です。

●店名の理由 「マーキング」と自分の名前である「正隼」から「Mark.」がいいと思ってお店の名前になりました。

●始めたきっかけは 大学卒業後、最初に勤めた会社でやっていったレーザー加工が面白かったこと、矢板では個人向けにやってお店がなかった。前職の知識を生かした仕事をしたいと思ってお店を開きました。

●今後の展望 二月から始めたばかりなので、今後一年くまいます。サイズはA3まで、金属以外なら何でもできます。ボールペン、野球やソフトで使うグローブやミットに名前を入れることもできます。弱点は、単色でしかできないことですね。その他にも印鑑、表札、千社札なども作っています。お客さまの要望に合わせて柔軟に対応し、その人だけの特別な一品を作るお手伝いをしています。

●記者の感想) ちょっと分かりづらい場所にあります、探していくのもまた楽しみですね。壁には料金表も貼ってあり、見本も置いてあるので、ぜひ皆さんも足を運んでみてはいかがでしょうか?



Mark.
住所: 中386-6
電話: 080-9552-7207

(R・K)